

## 「コロナ後の」トレンド変化へ対応

### 「品質」「安全衛生管理」「地方誘客」が鍵に

#### 依然として高い日本への訪問意欲

旅行トレンドの変化も踏まえた取り組みを進めていきます。

JATAでは、訪日インバウンド市場の回復に向けて、新型コロナウイルスによる感染拡大の収束を見据えながら、予想される訪日

今後の訪日需要の動向については、日本政府観光局（JNTO）の調査によると、台湾では「訪問したい国・地域」として67%のシェア

アを占めた日本がトップとなり、2位の韓国（20%）を大きく引き離しているほか、中国でも「日本への渡航制限解除後、安心が確認できれば訪日したい」が86%を占め（株式会社プラネットによる調査）、日本が訪問先として高い人気を維持しています。

さらに、Booking.comの調査

によると、韓国で「収束後早く行きたい国」の4位となったほか、香港とタイで「希望する旅行先」と「収束後行きたい海外旅行先」の上位3位以内に入っており、訪日意欲の高い国・地域では、ビジネス・個人・家族・小グループ・団体といった段階を踏んで訪日旅行の回復が進んでいくことが期待されています。

#### オンラインでインバウンドセミナー

また、従来は「ゴールデンルート：観光・買い物・インスタ映え・富士山・食事」がキーワードだった訪日旅行目的については、「ウエルビーイング・アウトドア・自然」傾向が強まり「国立公園・世界遺産・日本遺産」「グランピング・サイクリング」

「スキー・スノーボード・雪遊び」などへの志向が強まるとみられています。同時に、旅行先や旅行商品、交通機関、ホテルなどの選定においては「安心・安全」が重要視され、「品質」「安全衛生管理」「地方誘客」が訪日旅行に求められるキーワードとなる見通しです。

JATAでは、こうした傾向に対応する取り組みとして、(1)高品質で付加価値の高いコンテンツの企画・開発、(2)ツアーオペレーター品質認証制度のチェック事項への「安全衛生管理」「新型コロナウイルス対応」の付加とJATA会員各社による「旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドライン」順守、(3)アウトドアや自然体験商品とロングステイ商品の企画・開発を通じた地方誘客を推進する方針です。

8月25日には、「アフターコロナの訪日旅行」をテーマにJATAインバウンドウェブセミナーを開催して、今後の方向性を提案します。

## JATAインバウンドウェブセミナー 開催概要

■開催日時：2020年8月25日(火) 13:30~17:40

■テーマ：アフターコロナの訪日旅行

■参加者枠：3,000名

■進行(案)

13:30~13:35 主催者挨拶

(一社)日本旅行業協会副会長、訪日旅行推進委員会委員長 堀坂明弘

13:35~14:35 アフターコロナの訪日旅行

松本大学 名誉教授 佐藤博康氏

14:45~15:20 新型コロナウイルス収束後の訪日教育旅行の取組

長野県長野高等学校・上田高等学校

海外交流アドバイザー 恵崎良太郎氏

15:30~16:05

中国エリアにおける新たなFITマーケットの創出について

(一社)山陰インバウンド機構 代表理事 福井善朗氏

16:15~16:35

新しい旅の様式~地方バス会社・コトバスの取り組み~

琴平バス(株) 代表取締役 楠木泰二郎氏

16:45~17:05

アフターコロナに向けた観光バス事業者対策及び観光バス地域企画の取組

GSE corp.南薩観光(株) 代表取締役社長 菊永正三氏

17:15~17:35 空の旅の新しいスタンダード(ANAの取り組み)

全日本空輸株式会社(ANA)

マーケティング室 観光アクション部 部長 藤崎良一氏

17:35~17:40 まとめ(アンケートへの協力をお願い)